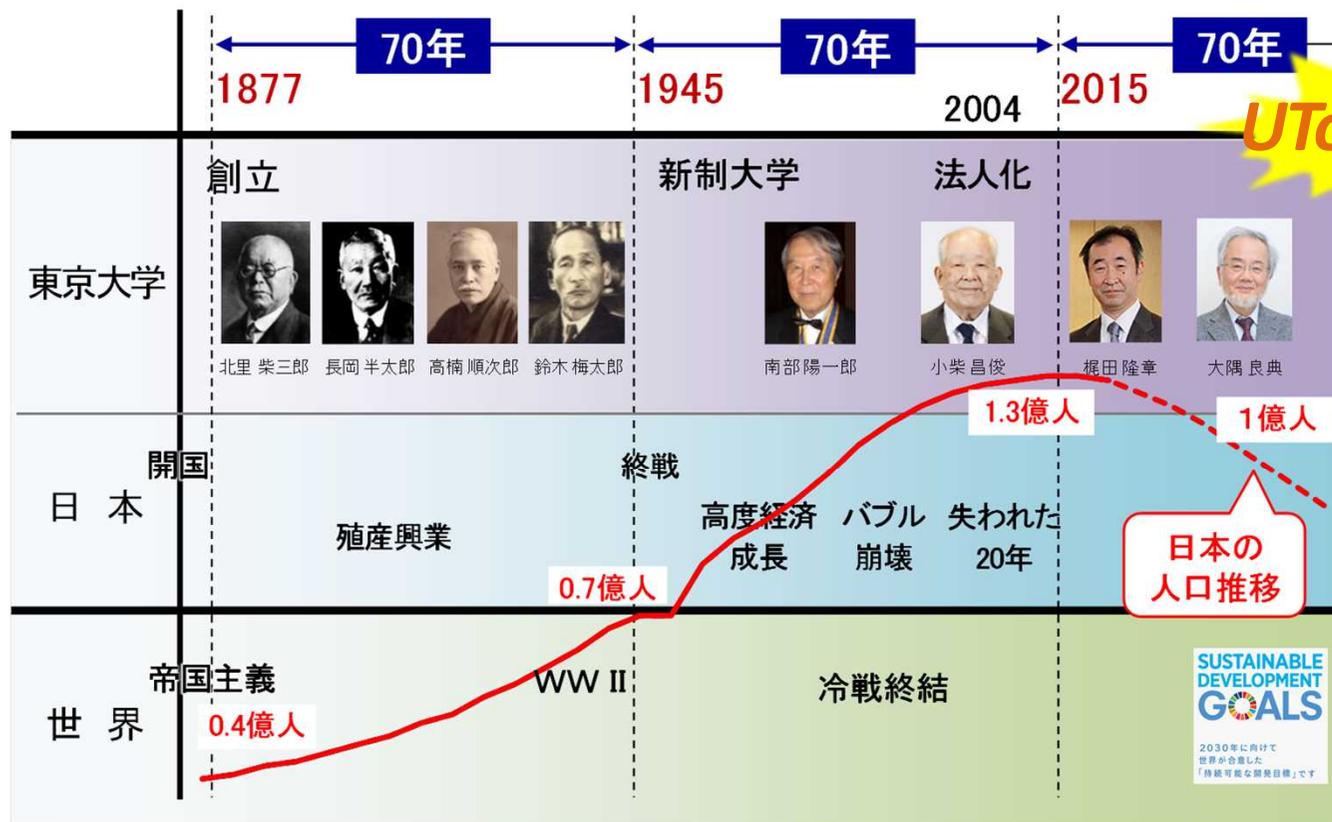


未来の人類社会づくりに貢献する 「知の協創の世界拠点」の形成

東京大学 総長
五 神 真

東京大学140年



・学部学生	14,116人
・大学院学生	13,419人
(修士・専門職)	7,600人
(博士)	5,819人
・教員数	3,931人
特任研究員	903人
(外数)	
・職員数	3,934人
・収入予算額	2,608億円
(運営費交付金)	805億円
(授業料等)	184億円
(附属病院等)	459億円) 他
・土地面積	326km ²
※ 国土総面積の約1000分の1	

1877.4 創立	
1886.3 帝国大学に改組	
1897.6 東京帝国大学に改称	
1947.9 東京大学(新制)に改称	
2004.4 国立大学法人 東京大学	
・学部卒業者数	276,803人
(1876-2015の140年間)	
・課程博士授与者数	33,003人
(1957-2015年度の59年間)	

2016年 世界の動向



人類共通の難題 : 資源の枯渇、地球環境破壊、世界金融不安、地域間格差の拡大、宗教対立 等
世界の变化・不安定化

新たな経済社会の駆動モデルが必要

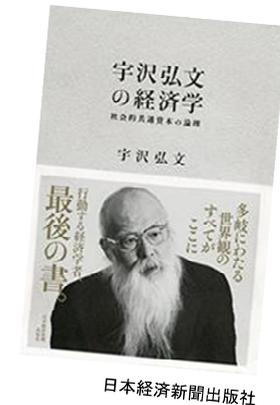
東京大学140年 ー次の70年をどうするかー

- 戦後70年、科学技術が飛躍的に進歩した一方で、人類はそれを社会に真に役立てるための知恵を十分に備えていない

- 新たな経済社会へ転換しそれを駆動するには

➡ 個々人が自由な意思で意欲的に活動することが人類社会全体の安定的な発展につながる仕組み

- 社会的共通資本 (Social Common Capital)
- CSV (Creating Shared Value)
- SDGs (Sustainable Development Goals)
- SDG Compass
(SDGsの企業行動指針が提案する取組のサイクル)



社会変革を駆動する大学へ

東京大学が社会変革を駆動する仕組み

アクション（指定国立大学認定 2017.6）

- ✓ 未来社会ビジョンを学内外で共有（SDGsを活用）
- ✓ 学際融合分野、新分野の創出
- ✓ グローバル化の戦略的推進
- ✓ 多様なセクターとの協働、価値創出の場を提供



未来社会協創推進本部（2017.7発足）

UTokyo
FSI
The University of Tokyo
Future Society Institute



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

戦略ビジョンの策定と
国際発信

学内ネットワーク形成と
未来社会協創プロジェクト組成

国際機関や企業等
との提携

研究・教育や人材育成・獲得に
先行投資

社会貢献・地域貢献
社会連携・国際協働の推進

基金や産学協創の拡大、
法改正を活かした資産運用、
財源多様化による財務強化

研究教育の価値を可視化し
国内外に積極発信

運営から経営へ（安定的かつ自律的な経営基盤の獲得）

SDGs推進による産学官の同時改革



- ✓ 学術知の多様な時間軸を活かし、より良い未来社会づくりに貢献する。
- ✓ 産学官の**変革を駆動する役割**を果たす。
【2015.10「東京大学ビジョン2020」】
- ✓ **財源の多様化**により、大学という公共財を支える新たな仕組みをつくる。

- ✓ 企業は、それぞれの**中核的な事業を通じて、SDGsに貢献**することができる。
【2015.9 潘基文国連事務総長】

[日本の動き]

- ✓ GPIF: **ESG投資を通じて持続的な企業価値向上を目指す方針**を表明。**ESG指数を公募・選定**。【2017.7】
- ✓ 経団連: **SDGsの観点から「企業行動憲章」と「実行の手引き」**を改定。
【2017.11予定】

人類共通の課題を克服する新たな経済・社会の駆動モデルの提示

SDGs: 東京大学の取組

- ✓ SDGsにより、東京大学の多様な研究・教育活動を可視化
- ✓ 学内プロジェクト募集(7月末~)、117件登録(8月末現在、17目標全てに該当)

多様な研究のシナジーを生み、社会的価値の創出につなげる

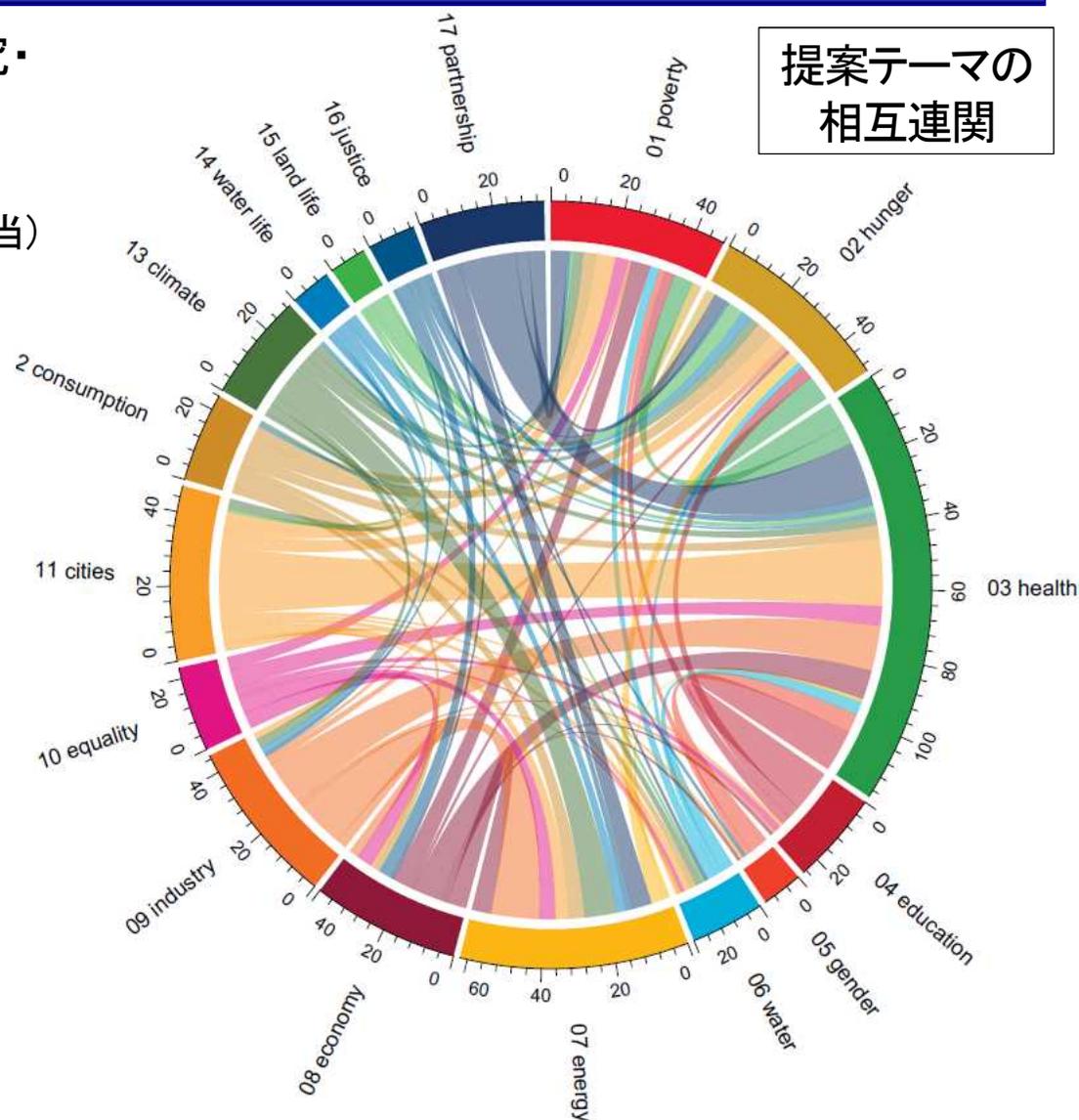
プロジェクト数

多いカテゴリー:

- SDG3: 健康・福祉
- SDG7: エネルギー
- SDG11: 都市・コミュニティー
- SDG9: 産業・インフラ

相互関連 (シナジー、トレードオフ)

- 健康は都市・コミュニティーとの関連が強い
- エネルギーと水、水と気候などのつながりが弱い
- パートナーシップが弱い目標もある
→ 今後の強化の可能性



大学の運営・経営戦略にSDGsを活用

東京大学SDGs関連プロジェクト: キーワード

研究概要などからキーワードを抽出 → 文理にまたがる様々な研究手法・対象(地域)

3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING



SDG3

(健康・福祉)

- ・ 死生学
- ・ ジェロントロジー
- ・ 比較ジェンダー分析
- ・ VR活用エクササイズ
- ・ パラアスリートの脳とリハビリ
- ・ 顧みられない熱帯病
- ・ 脳神経疾患治療薬
- ・ オペランド観測
- ・ 粘膜ワクチン
- ・ 最先端シーケンス技術
- ・ 橋渡し研究(TR)
- ・ 携帯データによる人口統計
- ・ UAV・IoT活用マラリア対策支援
- ・ 健康経営
- ・ 有機化合物ライブラリー
- ・ フレイル(虚弱)予防
- ・ 骨折対応型住環境デザイン

7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY



SDG7

(エネルギー)

- ・ ペロブスカイト
- ・ 太陽電池
- ・ 再エネスキル標準
- ・ 均一系触媒
- ・ ナノ・マイクロデバイス
- ・ 二次電池等物性研究
- ・ スマートエコアイランド
- ・ 再エネ・システム分析
- ・ 持続可能な
- ・ 電力政策研究
- ・ 核融合高度専門教育
- ・ ASEAN、離島、種子島

11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES



SDG11

(都市・コミュニティ)

- ・ 〈生〉や〈共存〉の
- ・ 普遍的概念
- ・ 都市持続再生学
- ・ 防災減災
- ・ 未来社会空間
- ・ 復興デザイン研究
- ・ 都市デザイン・
- ・ マネジメント
- ・ 持続可能な地域社会・
- ・ まちづくり
- ・ 高齢化社会のデザイン
- ・ 地理空間データベース
- ・ 外出支援システム
- ・ 柏市



より良い社会づくりに向けた取組例

東京大学スポーツ先端科学研究拠点開設 (2016.5) The University of Tokyo Sports Science Initiative (UTSSI)



開設記念シンポジウム [2016.6.4] 川原貴JSCセンター長(当時)、
(パネルディスカッション) 井上康生氏(柔道日本代表チーム監督)らが参加

多様な学術を基盤とした
スポーツ・健康科学の分野横断研究

- ✓ アスリートの運動能力向上
- ✓ 高齢者や障害者のQOL向上、
バリアフリー社会化

連携協定

[2016年5月20日]

- 独立行政法人 日本スポーツ振興センター(JSC)
- 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会(JPSA)

[2016年12月16日]

- 公益財団法人 日本サッカー協会(JFA)



JSC

JPSA

JFA

トップアスリートとトップサイエンティストのコラボレーションで
健康長寿社会が求める学術の進化を加速



「水」への取り組み：三浦真珠プロジェクト

世界初の 真珠養殖

131年の歴史があり、最も古い臨海実験所の1つである三崎臨海実験所では、箕作初代所長が世界で初めて真珠の養殖技術を開発。株式会社ミキモトの創始者御木本氏に伝授。

高度経済成長 と環境汚染

戦後の高度経済成長の中で近隣の工業化が進み、三浦近海の水質が悪化。綺麗な海水が不可欠な真珠養殖はできなくなった。

水質改善と 真珠復活

市民の意識改革と行政の努力により水質が劇的に改善。2013年にミキモトの協力を得てプロジェクトが発足。神奈川県、京浜急行電鉄株式会社などとも連携し、活動を拡大。

世界の生物学者達から
「奇跡の海」と呼ばれる
生物多様性の宝庫を次世代へ

**有限化した地球を守り、人類の
調和をなす持続的発展モデル**

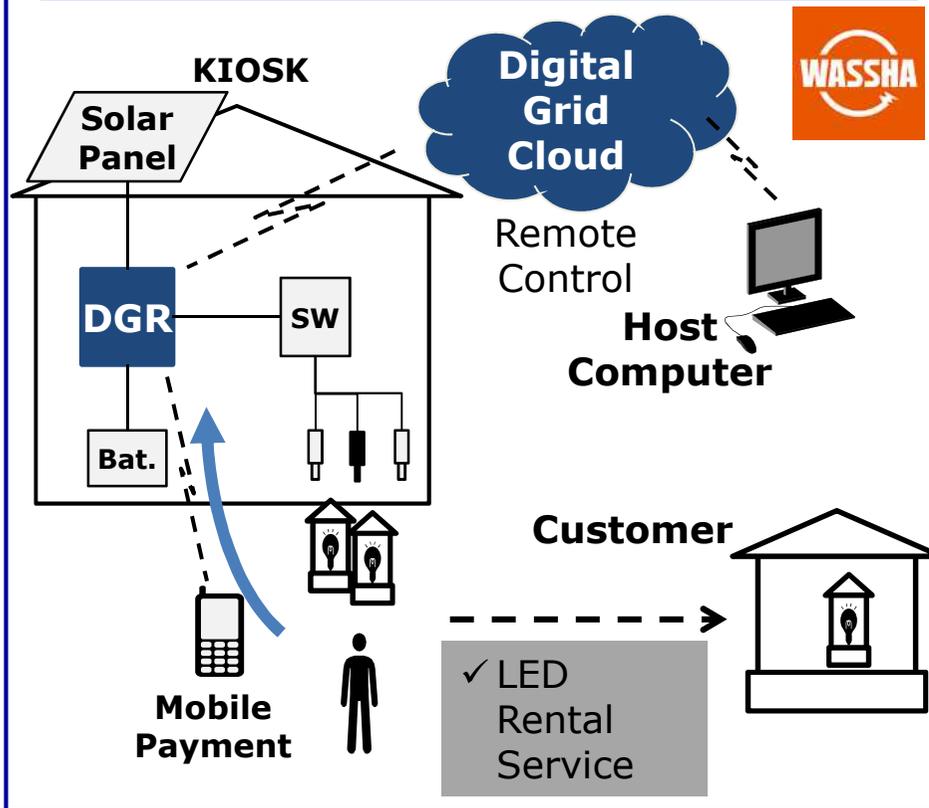




無電化地帯での再生可能エネルギー供給

- JICA、NEC、J-Power等も出資する東大発ベンチャー(株)デジタルグリッドが、太陽光電力を量売りするICT+モバイルマネー(WASSHA)事業を実施。
- タンザニアを中心とした無電化地帯の約24万人に電力を供給。
- 夜間の教育や営業活動を可能とし、地元の経済活性化やQOLの向上に貢献。

研究成果を活用したソーラーキオスク事業



デジタルグリッドルータ(DGR)電力供給





東日本大震災の教訓を踏まえた「危機対応学」

- 人々の行動特性を実証分析し、「危険(リスク)」を「機会(チャンス)」に転じる対応メカニズムを解明。
- 社会連携： 岩手県釜石市と産学官協働の「危機対応研究センター」を設置。
東日本大震災の記憶継承、その内容を社会に還元。
- 国際発信： コーネル大学を拠点とする政策提言ネットワーク「Meridian180」と連携。

メリディアン180との連携活動の様子



釜石市民との協働活動の様子



次の70年へ (UTokyo 3.0)

東京大学
(1877年創立)

- 創立140周年
- 世界の公共性に奉仕する大学 (東京大学憲章)



SDGs の達成と経済成長の両立に向けて
大学が知識集約型への社会変革の起点となる

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

研究活動

研究者が未来ビジョンを共有し、個々人の自由な意思で意欲的に研究に取り組む

産学協創

CSV経営やESG投資とのリンクによりSDGsを企業経営戦略へ

運営から経営へ

未来の人類社会づくりに貢献する「知の協創の世界拠点」形成のため
安定的かつ自律的な経営基盤を獲得